

## 研究のあゆみ(昭和47年～平成16年)

| 発表年              | 研究主題   |
|------------------|--|
| 1972年<br>(昭和47年) | ひとりひとりの力を伸ばすには養護・訓練をどのように計画し、指導したらよいか(1)                                 |
| 1974年<br>(昭和49年) | ひとりひとりの力を伸ばすには養護・訓練をどのように計画し、指導したらよいか(2)                                 |
| 1978年<br>(昭和53年) | 意欲的な学習をめざした精薄児の指導はどうあればよいか—教育課程の改訂をめざして欲求の発達をさぐる—                        |
| 1979年<br>(昭和54年) | 生活力を伸ばすための合宿単元学習はどのように計画し指導したらよいか  |
| 1981年<br>(昭和56年) | 教育課程の編成—教育課程編成の手順をさぐる—   |
| 1983年<br>(昭和58年) | 指導法の研究—よりよい授業の創造をめざして—   |
| 1985年<br>(昭和60年) | 教育課程の見直しの方法をさぐる—「数と計算」の学習を通して—   |
| 1987年<br>(昭和62年) | 一人ひとりの子どもを見つめた実践と評価  |
| 1989年<br>(平成元年)  | 社会生活を豊かにするコミュニケーションの指導その1  |
| 1991年<br>(平成3年)  | 社会生活を豊かにするコミュニケーションの指導その2  |
| 1993年<br>(平成5年)  | “自ら生活を充実させようとする”教育を求めて   |
| 1995年<br>(平成7年)  | 自立を支える指導法の研究—自ら考えて行動する子どもを育てる授業のあり方を探る—                                  |
| 1997年<br>(平成9年)  | 子どもの内面に焦点を当てた評価のあり方と授業改善—一人ひとりが主体的に取り組める授業をめざして—(その1:診断的評価から目標設定を考える)    |
| 1999年<br>(平成11年) | 子どもの内面に焦点を当てた評価のあり方と授業改善—一人ひとりが主体的に取り組める授業をめざして—(その2:形成的評価から授業改善の方法を考える) |
| 2002年<br>(平成14年) | 教育課程の再編成その1—アセスメント機能をもった内容表試案を作成し、指導形態等の改善の手がかりを探る—                      |
| 2004年<br>(平成16年) | 教育課程の再編成その2—実践的課題研究と卒業生の実態調査をとおして、自立と社会参加をめざした教育課程再編成の手がかりを探る—           |